



国土交通省道路局長 殿

恩建第 98 号

平成19年 4月26日

恩納村長 志喜屋 文康



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

標記の件について、平成19年4月2日付け国道企第114号により依頼のあった件を、  
別紙のとおり回答します。

## 中期計画作成にあたっての意見（恩納村）

### ○ 重点化を進めるうえで特に優先度の高い政策

#### 1. 安全・安心の確保

- ・ 当村を通過する国道の交通事故が多発している箇所については、線形改良や立体化等適切な対策を図り交通事故のおこりにくい構造にするべきである。

#### 2. 観光支援道路の整備

- ・ 当村において国道が通過する地域は県内でも有数のリゾート地であることを考慮し道路景観の向上、及び安全で快適な歩道空間を確保するために電線類を地中化するべきである。
- ・ 電線類の地中化が実現したときには、国道から当村の景勝地（万座毛）へ連結する周遊道路である「緑の回廊（仮称）」の整備を検討するべきである。
- ・ 又、景観が優れている箇所においては、車を駐車してゆっくりと景色を楽しむことができるスポット的なスペースを設けるべきである。

#### 3. 拠点までのアクセス向上・連結強化

- ・ 現在事業中のバイパス（恩納、恩納南）は計画どおり速やかに事業を進めるべきである。  
又、隣村（宜野座村）と直接連結している道路がなく他の市町村を迂回してアクセスしている状況なので直接連結する道路を整備するべきである。

### ○ その他、道路政や策道路の整備・管理全般

- ・ 現在事業中のバイパス（恩納、恩納南）が完成した時点で現道は県に引き継ぐときいているが、当村において現道が通過する地域は県内でも有数のリゾート地であることを考慮すれば、バイパス開通後も現道を直轄国道として管理するべきである。